

人権 まんが 未来ちゃん

第47回 認知症と人権

作画 南一平



人権まんが 解説

認知症は、私たちが
れもがなり得る病気で
す。新しいことを記憶
することや、自分の要
望を的確に伝えること
ができません。また、周囲の現
実をうまく認識できません。

しかし、症状が軽い段階のう
ちに適切な治療を受ければ、薬
で認知症の進行を遅らせること
や、周囲の適切な見守りや援助
によって、症状の改善が見られ
たり、自分でできることが増え
たりすることも分かってきまし
た。

残念なことに、認知症に対す
る理解の低さから、中でも認知
症の高齢者は、ネグレクト（放
置）や暴力といった虐待を受け
たり、財産を勝手に処分されたり
するなど、人権が無視されるこ
とが少なくありません。

認知症になっても、その人の
人生や人間の根源的な権利であ
る人権が否定されるわけではあ
りません。

私たちは、認知症への理解を
深め、認知症の人が自分らしく
いきいきと暮らしていけるよ
う、このような立場にある人た
ちの人権を大切にすると共に、
温かい目で見守っていきまし
う。

よしだ文化会館だより②